広報 かじき

No.346 昭和58年 8月号

発行 加治木町
編集 総務課

第１７回夏まつり

灯ろうのほのかな明かりや風に揺れる七夕かざり。

夏の風物詩

心地よい風に鳴る風鈴の音に誘われて、浴衣がけで金魚すくいや踊りに興じたふるさとの夏の思い出。

八月五日・六日の二日間第十七回の夏まつりが盛大に行われ、家族づれ等でにぎわいました。

ラジオ体操に、プールサイドに、子どもたちの喚声が聞こえます。夏休みも半分過ぎ、残りあとわずか。

二学期に向けて、体と心の準備を始めましょう。

◈人口22,904(＋21) 男10,819(＋４) 女12,085(＋17) 世帯数 7,715(－４) 58.７.１現在( )前月比

水防協議会設置条例を制定

一般会計 四千百三十二万九千円を追加

≫６月町議会≪

第二回定例町議会は、六月十六日から二十三日までの八日間の会期で開かれ、一般会計補正予算をはじめ、水防協議会の設置条例の制定や、町監査委員の選任など、議案十件、開発公社の経営状況に関する報告二件、陳情二件、合わせて十四件の議案が審議・可決されました。

三十九億三千八百八十二万九千円に 一般会計予算総額

可決された昭和五十八年度一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれ四千百三十二万九千円を追加し予算総額は三十九億三千八百八十二万九千円となりました。

追加された主な内容は、次のとおりです。

▽小山田線道路新設改良事業費三千万円▽公衆浴場の十二月分までの燃料費三百万円▽連絡農道測量設計委託料一百四十万円▽蔵王団地などの遊具新設取替工事費一百二十二万円▽十三塚原畑地帯総合土地改良事業の借入金決定などに伴う利子補給一百四万二千円▽図書館の雨もり補修工事費八十七万円▽学校給食共同調理場の備品購入費五十六万五千円など。

農免道と結ばれる小山田線

水害に備えて 水防協議会を設置

台風などによる洪水または高潮に際し、よりいっそう水災を警戒し、防御するための水防計画の立案や、水防に関する調査・審議を行うことを目的とした「加治木町水防協議会」を設置する条例を制定しました。

協議会は町長を会長とし委員には、議会代表三人、農業委員会の委員一人、教育委員会の委員一人、学識経験者一人、各種団体の役職員若干名、町職員七人の二十五人以内を町長が委嘱し、任期は二年間となっています。

陳情は 継続審査に

三月議会で継続審査とされていた「木田本通線日豊線木田踏切のこ線橋建設反対陳情書」が新たに提出され、今回陳情のあった「昭和五十八年産米の政府買入れ価格に関する陳情書」の二件が審議されましたが、いずれも継続審査となりました。

町監査委員に 新納正教氏を再任

町監査委員に、柳田の新納正教氏

六月二十七日任期満了となった町監査委員に、柳田の新納正教氏（六六）を再任することに同意しました。

新納氏は、昭和五十四年二月県くみあい開発株式会社専務取締役を退任され、同年六月から町監査委員。現在、行政相談委員（行政管理庁委嘱）としても活躍されています。

自然を破壊 ポイ捨て空き缶

海へ、山へ―夏のレジャーもいまがピーク。ところが、いざ目的地に着いてみると、そこら中にところかまわず空き缶が投げ捨てられている…。これではせっかくの楽しい気分もどこへやら、です。

しかし、そんな不愉快な思いをしたあなた自身は、ついうっかりと空き缶を捨ててしまったという覚えはありませんか。

〝一度くらい〟〝一つだけ〟。こうして投げ捨てられた空き缶が街を汚し、自然を損ない、〝空き缶公害〟とまでいわれる問題になっています。そのうえ、空き缶の〝ポイ捨て〟は、省資源・省エネルギーの点でも大きなマイナス。

わたしたち一人ひとりが心したいものです。

おやじの生き方を語ろう

父親土曜セミナー開講

町教育委員会では、県が五十八年度から始める青少年育成のための事業「父親土曜セミナー」を実施することにし、七月十六日福祉センターで開講式を行いました。

「父親土曜セミナー」は、最近少年非行が激増するなか、家庭や地域で〝父親の役割〟の重要性が見直されてきていることから、父親や地域のリーダーを対象に第三土曜日の「青少年育成の日」を中心に学習・実践活動を行うもの。

町のセミナーへの参加者は、自治会や学校・PTA等から応募された七十人で、開講式には五十五人が参加しました。

開講式では、乙須教育長が「父親の役割について知識として学ぶだけでなく、地域で実践してほしい」とあいさつ。学級生を代表して大工園純孝さんが「与えられる教育ではなく、自分たち自ら考え学習や実践を積み上げ、セミナーを意義あるものにしたい」と決意を述べました。坂元社会教育課長の趣旨説明のあと、元県教委・教育次長の植之原道義先生が「家庭と地域における父親の果たすべき役割」と題して「現在の青少年は忍耐力が弱く、すべての子どもが程度の差こそあれ、不健全な意識を持っている。青少年の健全育成への道は、心を育てていく事しかない。家庭で強い父親となり、子どもに失敗を乗り越える心構えを持たせよう」と講演しました。

一回目のセミナーは、八月二十日午後二時から、町福祉センターで「おやじの生き方を語ろう」と小・中学生、高校生約五十人との〝意見交換会〟を行う予定です。

父親の出番を

町固定資産評価審査委員三人を選任

六月二十七日付けで任期満了となった町固定資産評価審査委員会委員に、議会の同意を得て、三人の委員が選任されました。

固定資産評価審査委員会は納税者の審査の申出を受け、固定資産税の課税評価等について適正か、公平な処理がなされているか等を中立的な立場で審査・決定する機関で、任命された委員は次のかたがたです。

犬童　秀清氏（毛上）
山口　成美氏（柳田）
築瀬　彰氏（岩原西）

右から築瀬・山口・犬童の三氏

抱負を語る団員

自立自興の精神を

県少年の船に十一名

青年・高校生と中学生が一緒に規律ある集団生活を行うとともに異年齢間の相互学習や、滋賀県・岐阜県・愛知県を訪問し、薩摩にゆかりのある史跡や文化財、先端技術や産業・文化等にふれ、視野を広め自立自興の精神を養い、心身ともにたくましい青少年を育てようと県が実施している「少年の船」が七月二十一日、谷山港を出港しました。

町から、中尾未希さん（加治木中三年）等女子十一人が参加。

出発に先立ち午前十時から、役場の第三委員会室で町の結団式を行い、町長らが「青少年の時代に見たこと、聞いたこと、感銘を受けたことは、人生に大きな力となります。他の班の人たちとも大いに交流し、しっかり勉強してきてください」と激励しました。

班長の上枝久美子さん（高井田）は「みんなと協力し、有意義な六日間の研修をし、今後の活動に生かします」と決意を述べ、全員元気に出発しました。

電気料金のお支払いは

便利な口座振替を

お忙しいお宅や留守がちなご家庭には、金融機関の預(貯)金口座からの口座振替払いが便利です。

これは、毎月一定の振替日に金融機関が、お客さまの口座から九電の口座に電気料金を振替えます。

ご希望の方は、最近の「電気料金領収証」と「金融機関お届け印」「預金通帳」をお持ちになって、あなたの金融機関の窓口へお申し込み下さい。

健康優良児を表彰

健康づくり推進協議会

表彰状を手に春・秋の健康優良児とお母さんたち

町健康づくり推進協議会の総会は七月二十日、推進員等六十一人が参加して開催され、昭和五十七年度町健康優良児十六人の表彰や五十七年度の事業報告、五十八年度事業計画等を協議しました。

五十七年度事業報告で、健康体操が毎日実施された地区もあり、人間関係づくりに役立っていること等が報告されました。また五十八年度事業では、従来の母子保健事業等に加え、四十歳以上を対象とした健康相談等を実施すること等を決めました。

表彰されたかたは次のとおり。

保健所長賞（三歳児健診の部）

伊福智美（春日団地）
安達広紀（空港団地）

春の乳児健診の部

大園裕介（岩原東）南原洋平（春日団地）松本豊（反土黒川）前田久美子（豊町）辻めぐみ（小鳥）津島彩（柳田）山本大甫（岩原東）小牧利弥（上木田）梅木亜沙美（下新道）

秋の乳児健診の部

川原孝祐（西江口団地）古賀綾益（岩原西）久保田成実（春日団地）東敬行（岩原西）内村博幸（西反土後）永原ひと美（柳田）入来田亜矢（小鳥）

保健所長賞に

公園通りのさつきを手入れ

社会教育学級生

さつきの手入れをする学級生

町の社会教育学級に学ぶ湯浅三郎さんら八十二人が、学んだことを街づくりに役立てようと、七月八日九時から、くわ、せん定バサミ等を持ちより、公園通りのさつきの手入れに汗を流しました。

花だんの草取りから、せん定、施肥、清掃と手際よく作業を進め美しい通りとなりました。

社会教育学級生のかたがたは、この奉仕作業を毎年実施されており、今年で三回目になります。

郷土史探訪 ② 日木山洞窟遺跡

この洞窟は、日木山トンネル入口の約百メートル北西部、坂口秀志氏宅の裏山にあり、縄文後期の住居跡だと言われており町の野田昇平氏が発見し、昭和十二年国学院大学の樋口清之氏が発掘調査を行っている。

これは断崖麓にできた自然の海蝕洞窟であり、約一万年から五千年前の縄文海進期に、海水の侵蝕によってでき、約四千年前の縄文海退期に海水が引き、約三千年前・縄文後期に住居となったと思われる。

洞窟の大きさは、高さ約四メートル、幅約二メートル、奥行約七メートルで、両壁面に波状跡が残り海水の侵蝕によってできたものであることがわかる。

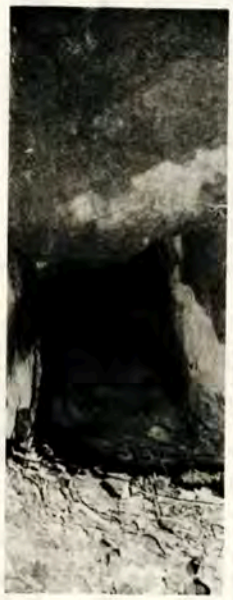
洞窟の中から木炭・灰・焼けた骨・貝殻、鹿・猪の骨等が発掘され、石器の屑や未完成品、土器片も見つかった。

土器は、文様から考えて縄文後期（約三千年前）のものと思われ「日木山式土器」と言われている。

これでこの洞窟に、いつごろ人間が住んでいたかがわかる。

この洞窟の北西、蔵王岳に行く途中、日木山の山元氏宅近くの田んぼのすみに「船石」という巨石があり、この一帯が海であったころ、船をつないでいたものだと言われている。

昭和五十六年、町水道課が高井田・木田で井戸を掘削した時の砂が、試験管にとって保管されているが、貝の粉末が混じっている。これらのことから考えると、現在の加治木の市街地・吉原・日木山・高井田・木田地区は、海が入り組んでいたようである。



子どもを健やかに育てるために

町PTA母親研修会

講演する荒田先生

青少年の非行が増大しつつある中で、家庭や地域で母親としてどうあるべきか、果たすべき役割についてお互いに勉強しようと、町PTA母親研修会が七月五日、福祉センターで開かれました。

この日は「子どもを健全に育てるために、母親としてどうあるべきか」を研修主題に、町内の幼稚園児から高校生までの子どもを持つお母さんがた四百十六人が参加し学習しました。

お母さんは暖かい

開会式の後、さつき幼稚園・園長の荒田静先生が「健全な子どもを育てるために」と題して講演しました。

先生は、講演の中で「今の子どもは扱いにくいが、教育の仕方によってはすばらしいという両面を持っている。親が子どもの手本とならなければ、子どもは人生の意義をだれに求めればいいのだろうか。現在の家庭は父親と母親の役割が逆になっており、父親の権威を母親が下げている。これでは子どもも親を尊敬しないだろう。

家庭の中では、母親がまず父親を尊敬することが必要だ。そして〝お母さんは、太陽のように暖かい〟というイメージを忘れさせないで欲しい。子どものりっぱな面を必ず見つけ出してやることが母親として、女性として生まれた使命である」と語りました。

ふくしの窓口 ⑥

母子・父子家庭等の児童に医療費を助成

満十八歳未満の児童を有する母子家庭や父子家庭あるいは父母のない家庭は、医療費の助成（母子家庭等医療費助成金）が受けられます。

▽助成金の額

病院や医院等で支払った一部負担金の毎月分から二千円を控除した額を助成します。

▽助成対象者

母子家庭、父子家庭、父母のない家庭の児童（いずれも満十八歳未満の児童）

▽受給資格者の登録

助成を受けるには「助成金受給資格者」の登録が必要です。

▽登録申請に必要なもの

印鑑と保険証を持参のこと。

※…詳しいことは町福祉課まで

心豊かな幼児を

全国九州幼稚園大会

「心豊かで、たくましい幼児の育成をめざして」をテーマに、第三十回全国国公立幼稚園教育研究協議会・第二十四回九州国公立幼稚園会研究大会が七月二十二日・二十三日の二日間、鹿児島県で開催されました。

加治木町では、加治木幼稚園と錦江幼稚園が公開保育を実施したほか、町福祉センター等三つの会場で分科会が開催されました。

加治木町で行われた分科会のテーマ・会場は次のとおりです。

▽錦江小学校…運動遊びを精いっぱい楽しむ幼児の育成はどうすればよいか。

▽柁城小学校…進んで友達と遊んだり仕事をしたりする幼児の育成はどうすればよいか。

▽福祉センター…経験したことや思ったことをすなおに表現できる幼児の育成はどうすればよいか。

分科会で熱心な討議が…

札立墓地クリーン作業

町社会福祉協議会では、五十七年度から町内の墓地に焼却炉を設置しており、その第一号が札立の椿窓寺墓地に設置されました。

同墓地に墓を所有している人たちは、各自治会輪番でこれを管理することにし、この機会にと六月三十日、墓地の整理、大掃除を実施しました。

各自治会から五名づつの計七十人が作業に参加し、田中の稲田進さんの指導で、長年たい積したチリの持ち出し、無縁墓の清掃等を行いました。

全員一致の作業でトラック六台分のじんかいを処分。三時間余りで作業が終り、墓地は見違えるようにきれいになりました。

心配ごと相談

毎週木曜日・午前中福祉センターで応じています。お気軽にどうぞ。

永原地区が二連覇

地区対抗 一般男子バレーボール大会

地区対抗一般男子バレーボール大会は、七月二十四日町営体育館で九チームの地区代表選手が参加し行われました。

地区の盛んな声援の中、熱戦が展開され、決勝では永原地区が城南地区を、セット数二対一で破り、昨年に次いで二連覇しました。

成績は次のとおりです。

優勝　永原地区
二位　城南地区
三位　城北地区

永原対城南の決勝戦

二十一チーム参加

町弓道大会

町弓道大会が七月十六日、加治木工業高校弓道場で、二十一チーム・六十三人が参加して行われました。成績は次のとおりです。

【団体の部】

▽中学男子
①加治木中A　②加治木中B

▽高校男子
①加治木工高A　②加治木高B

▽学生女子
①加治木中A　②加治木中B
③国分実業高

▽一　般
①役　場　A　②教　職　員

【個人の部】

▽中学男子
①中野伸司②是枝快泉③安留秀雄＝以上加治木中

▽高校男子
①村井禎（加治木工）②後飯塚晃（加治木高）③餅越智宏（加治木工）

▽学生女子
①上野理子（加治木中）②三反好子（国分実業高）③黒木昭子（加治木中）

▽一　般
①滴尾繁（一般）　②四元義照（役場）　③長井利弘（役場）

的に向かって

優勝した町役場チーム

二十七チームが熱戦

剣道練成大会

町剣道連盟が主催する第五回剣道練成大会が七月十七日、町営体育館で行われ二十七チーム、百五十二人の剣士が参加し、熱戦を展開しました。成績は次のとおり。

【団　体　戦】

▽小学生の部
①加治木町剣道スポーツ少年団A②加治木町剣道スポーツ少年団B③柁城剣道スポーツ少年団A

▽中学生の部
①加治木中A②加治木中G③加治木中D③加治木中E

▽高校生の部
①加治木工B②加治木高A③加治木高B

▽スポーツ少年団（混成）の部
①加治木町剣道スポーツ少年団②柁城剣道スポーツ少年団③警精館少年団

▽職場対抗の部
①新富剣友会②加治木電報局③火曜会

【個　人　戦】

▽高校の部
①妹尾邦治②坂元操③前田進（いずれも加治木高）

▽一般の部
①小松大②外山義昭③畠中勝則

気合いするどく

役場チームが出場権

南日本ナイターソフト

南日本ナイターソフト大会への出場権を争う姶良西部地区予選大会は七月二日、姶良町のグラウンドで決勝戦が行われ、単独の部で町役場が八月十七日から鹿児島市で開催される決勝大会への出場権を得ました。一方混成の部では竹之内鈑金が延長九回の熱戦を展開。抽選で敗れ、惜しくも出場を逸しました。

▽単独決勝
加治木町役場　２０３０８ 13
渕上段ボール　０００００ 0

▽混成決勝
竹之内鈑金　１０００２０００ 3
大楠クラブ　１０００２０００ 3
（大楠クラブの抽選勝ち）

Aクラス 姶良西部消防
Bクラス 加治木高校 が優勝

≫夏季ナイターソフト≪

Aクラス優勝の姶良西部消防

Bクラス優勝の加治木高校

町ソフトボール協会が主催する夏季ナイターソフト・ボール大会の決勝戦が七月二十三日、町営グラウンドで行われました。

この夏季ナイターソフト・ボール大会には二十六チームが参加し七月十日から十四日間にわたって熱戦が繰り広げられ、Aクラスでは姶良西部消防が、Bクラスでは加治木高校が優勝しました。

決勝戦は次のとおりです。

▽Aクラス決勝

姶良西部消防　2 0 0 5 0　7
無　邪　気　0 0 0 3 1　4

▽Bクラス決勝

スネークス　0 0 0 1 0 0
加治木高校　7 2 2 0 5 2×　18×1

共に学び合い
たくましい心身を

錦江三地区 西別府地区 子ども会合同キャンプ

いただきます

ご飯を作るってむずかしい

県の青少年自立自興運動・モデル地区として指定を受け活動を進めている錦江三地区と西別府地区の子どもたちが、七月二十三日・二十四日の二日間、永原小学校で合同キャンプを楽しみました。

これは自立自興運動の活動の一つとして、野外研修を通じてモデル地区どおしの交流を図るとともに、共に学ぶ心や、たくましい心身を養うことを目的に開催されたもので、それぞれの地区から小・中学生七十三人が参加。キャンプファイヤーや話し合い活動を行い有意義な二日間を体験しました。

飯ごうを使っての炊事では煙で目を真っ赤にする子もいました。

新記録が十二個
町の水泳記録会

町教育委員会と町内小・中学校体育連盟主催の町内小・中学校水泳記録会が七月二十一日、柁城小学校プールで行われました。

この日は、町内の小・中学校から約三百人の子どもたちが参加。両親や友だちの盛んな声援の中、元気いっぱい四十種目に挑戦して十二個の新記録が生まれました。

新記録は次のとおりです。

▽小五女五十メートル自由形
東川内かおり（竜門）三十五秒一

▽中女一〇〇メートル個人メドレー
下小牧美保　一分二十五秒五
東川内智恵　一分三十三秒九

▽小六女五〇メートルバタフライ
古江めぐみ（柁城）四十四秒〇

▽小五女五〇メートルバタフライ
川原まゆみ（竜門）四十七秒四

▽小六女一〇〇メートル平泳ぎ
日高直美（竜門）一分四十一秒六

▽小五女五〇メートル背泳ぎ
東川内かおり（竜門）四十四秒四

▽小六女五〇メートル背泳ぎ
古江めぐみ（柁城）四十五秒一

▽小五男五〇メートル背泳ぎ
犬童国太（竜門）四十七秒九

▽小六女五〇メートル平泳ぎ
日高直美（竜門）四十六秒〇
（大会タイ記録）

▽小男二〇〇メートルリレー
錦江小A　二分三十一秒六
竜門小A　二分三十五秒四

▽中女二〇〇メートルリレー
加治木中女子A　二分二十四秒五

新記録をめざして

税は納期内に
今月は町民税・固定資産税
第二期の納期月です。

人生はすばらしい

社会教育学級講演会

町の社会教育学級に学ぶ学級生が学級での専門的な学習ばかりでなく、新しい時代に対応しよりよく生きてゆくために、幅広く勉強しようと七月九日、慈光保育園長・冨重園先生を講師に招いて、福祉センターで研修を行いました。

先生は「私の父は、夜中でも目覚めると本を読みます。今からなぜと聞いてみますと、人生が残り少ないからこそ本を読むのだと言います。

趣味を持って人生を送ることはすばらしいことだと父を見ていて思います」と講演されました。

冨重先生の講演

ふるさとの味を伝えよう

郷土料理教室

味はどうかな…

福祉課が主催する郷土料理教室の開講式が七月十四日、町福祉センターで開催され、公募によって選ばれた三十人が参加しました。

これは、郷土に伝わる料理を調理し味わい、またその時々の行事等について話し合い、ふるさとの心も伝承していこうというもので今回が八回目になりました。

開講式では、指導に当たる永田フヂさんが「この講座を通じて、鹿児島の昔の人がどんな料理を作ってきたのか。子どもたちをどのように育ててきたのかを学んで欲しい」とあいさつ。その後、指導者の島津澄さんらと「さつまおすもじ」や「ふくれ菓子」等の料理を作り、試食しました。

青少年の豊かな心を育てよう ④

基本的な生活習慣

子供の成長に応じて〝しつけ〟る

学校や家庭での「しつけ」が十分でないことが、児童や生徒の非行が増えている背景の一つとして挙げられています。つまり、今の児童・生徒には、社会人として望ましい「基本的な生活習慣」が身についていないことが多く、これが非行に結び付いている、その責任の一端は家庭や学校にある――とする考え方です。

このような考え方に対していろいろ論議はあると思いますが、謙虚に耳を傾け反省すべき点があれば改善したいものです。

では、基本的な生活習慣とはいったい何でしょうか。一言でいえば社会生活に適応していくための基本となる〝ものの考え方〟また、道徳に基づいた行動の仕方だといえるでしょう。

この基本的な生活習慣を、子供の成長に応じて身につけさせることが「しつけ」です。

しつけのための心がけ

子供に、基本的な生活習慣を身につけさせるため、次のことを心がけましょう。

▽〝規律アレルギー〟をなくす

若いご両親や先生は、しつけや、規律という言葉に抵抗を感じることが多いようです。子供をしつけるとき、この抵抗感が妨げとなります。しつけの第一歩は〝規律アレルギー〟を取り除くことです。

▽放任や甘やかしはしない

昔に比べると、子供を放任したり甘やかす家庭が増えています。家の中で〝にらみ〟を利かせていた親が、やさしい親、無関心な親に変わってしまったことも原因の一つです。子供をしかるときには、きちんとしかるようにしましょう。

▽教育に対する両親の考え方を一致させる

子供が同じことをしたのに、父親と母親で注意の仕方や接する態度が違っていると、子供は何を模範にしてよいのか迷います。子供のしつけは、父親と母親がよく話し合い、協力して行うことが大切です。

「赤いリンゴ」を公演

人形劇団「ピノキオ」

キツネのスイカ泥棒を演ずる

七月二十日、町立図書館が毎週水曜日に行っているお話しの時間に、ママさん人形劇団の「ピノキオ」が〝赤いリンゴ〟〝キツネのスイカ泥棒〟を公演し、集まった百六十人の子ども達やお母さんがたの盛んな拍手を受けました。

人形劇団「ピノキオ」は、五十六年六月、今町の神崎シゲ子さんの呼びかけで結成されたお母さんがたのグループで、現在十一人。

人形はすべて端切や、カサの骨などを使った手作りで、和裁・洋裁に心得のある日高栄子さんは頼もしい味方。すでに六〇点以上をみんなで制作しています。

一年間に四つ程度の話を練習しており、これまで「大きなカブ」「赤ずきんちゃん」「七匹の子やぎ」等童話や民話を題材にしたものをマスターし、レパートリーもしだいに増えています。

グループの目的は、人形劇を通じて子ども達との交流の場をつくり、豊かな情操教育を図ること。

リーダーの神崎さんは「子どもたちの輝く瞳が好きなんです」と話していました。

悩みとしては会員が少ない事。練習は、毎月第一・三土曜日の午後二時から図書館の日本間で行っています。

九月からは、早くもクリスマス公演に向けての練習を始めるそうです。どうぞお楽しみに。

一シーズン二四〇〇匹も

まむし名人　池田虎男さん

まむし名人・池田虎男さん

蝮（まむし）はトカゲ目の毒蛇で、頭は三角形をしており、全身暗灰色で黒褐色の銭形斑がある。

日本各地に分布しており、その毒に傷つけられる人も多い、やっかいな蛇のようです。

口ノ町の池田虎男さん（六〇）は、このまむしを捕り始めて四十年。「拝啓まむし名人殿」で郵便が届くほどの大ベテラン。

毎年まむしの出没する七月になると一人で、腰に竹籠を下げ、火ばさみを手に、町内の西別府や小山田、遠くは国分あたりへも出かけ、九月までの一シーズン中に四〇〇匹も生け捕るそうです。

まむしは光を当てても逃げず、攻撃しようとする姿勢をとる。その時すかさず、出来るだけ頭に近い所を押さえるのがコツとか…。少しの油断が命取りになりかねないため捕獲する時はいつも真剣。

まむしは古来から強壮剤として用いられており、まむし酒や、天日に干したまむしを粉にしたものは、ぜんそく等に効果があると言われています。

池田さんは、「まむしを捕るため歩いているせいか夏バテなどしたことがない。田んぼにいるから捕って欲しいと頼まれることも多いし、これからも続けたい」と話しています。まむしにとっては、嫌な夜がまだまだ続きそうです。

無料人権法律相談

鹿児島地方法務局加治木支局のほか、次の人権擁護委員が自宅でも相談に応じています。お気軽に御相談ください。秘密は固く守られます。

宮城俊治　港町一三二番地
一二一（電話三一―三七八七）
田中重男　仮屋町六四
（電話二一―二二六〇）
中摩多美子　反土二七五
六（電話二一―二七六八）

竜門の会

帰省子の庭下駄鼻緒ゆるめたり　川崎　黒兎

霧過ぎて原は薄日の梅雨あざみ　三浦　ゆう

一筋の滝密林を貫ぬけり　加藤　白柳

郭公や牧うつりゆく雲の影　能勢真砂子

そよ風の植田にいくつ夕餉の灯　鶴田　耕

山よりの風呼ぶ湯窓合歓の花　横山　江南

梅雨寒の旅や弛るめの靴を履く　恒吉　斗南

青萱の刈られて雲の動き出づ　古江　重美

藍浴衣ときめき包み星仰ぐ　上野　光

投網に魚鱗きらめく日の盛り　井之上透山

雨の軒患者を見舞ふ夏つばめ　宮脇　思川

お知らせ

職業転換訓練生を募集

県立中央専修職業訓練校では、就職を希望する中高年齢者、寡婦等を対象に、自動車運転等を学んでもらう、十月入校の職業転換訓練生を募集しています。

○**訓練対象者**

(1)就職希望の中高年齢者

(2)身体障害者で自動車運転教習希望者

○**入校手続**

国分公共職業安定所に申込んでください。

（身体障害者自動車運転教習の希望者は、福祉事務所か役場の福祉係に申し込みを）

○**訓練科目及び人員**

自動車運転科　三〇人
ブロック建築科　二〇人
洋服科　一〇人
身体障害者自動車運転教習　一〇人

○**募集期間**

八月一日から九月二日まで

◎詳細については、最寄りの公共職業安定所か訓練校へおたずねください。

（中央専修職業訓練校＝電話〇九九五六―五―二二四七）

交通事故のご相談はお気軽にどうぞ

財団法人 日本損害保険協会

社団法人日本損害保険協会では全国五十四か所に「自動車保険請求相談センター」を設置し、自動車事故による自動車損害賠償責任保険や任意自動車保険（対人・対物・車輌）の請求について一切無料で引き受けております。

○**時間**

（平日）九時半から午後四時半
（土曜日は正午まで）

○**弁護士相談日**

毎週木曜日　午後一時から四時

◎専門の相談員が親身になって相談に応じます。お気軽にどうぞ

鹿児島自動車保険請求相談センター＝（鹿児島市中央町十二―二明治生命西鹿児島ビル五階、鹿児島調査事務所内　電話〇九九二―五二―三四六六）

子どもの感電事故をなくしましょう

昆虫採集、魚釣り、水遊びと子どもたちの夢を大きくふくらませる楽しい夏休み。

この夏休みに多い感電事故から子どもを守るため

「危ないところでは遊ばないで」

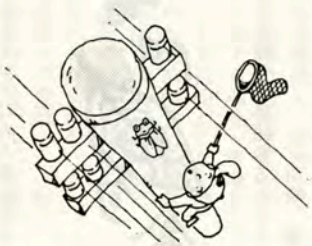
とひと言お子さんに……

●セミとりなどで電柱にのぼるのはやめましょう。

●電線の近くでの木のぼりはやめましょう。

●電線の近くで飛行機あそびはやめましょう。

●切れた電線には絶対さわらないで、すぐ最寄りの九州電力営業所へご連絡ください。



更生保護相談所

毎週水曜日

町保護司会では、次のとおり更生保護相談所を開設しています。ご利用ください。

○開設日…毎週水曜日
○時間…午前九時～正午まで
○相談内容…学生、生徒等の非行や、家庭でお困りの方、心身障害者の就職、生活指導について相談に応じます。
○…秘密は厳守し、保護者と一緒になって更生への道を話し合います。

うぶ声

六月二十一日から七月二十日まで受付分

出生児	保護者	自治会
薗田　大樹	孝男	蔵王団地
松元　大樹	茂樹	豊町
犬童　努	良和	西浦西
矢富　義都	則義	竹下
永岩　千佳	透	岩原東
日下　幸一	芳雄	空港団地
谷口亜須香	利善	弓削
西谷　美鈴	登	西塩入下
安田　将	昭男	須崎
屋所　勝志	勝幸	江口団地
入來　寛久	敦久	豊町
野元　章久	則博	田中
宮薗　崇志	賢一	岩原西
永田　敏郎	久利	蔵王団地
穂満　省吾	利行	川原
備　耕庸	高麿	蔵王団地
山口　昂	昇	上浜
木山　暁子	裕繼	天神
牧野　美紀	澄博	垂ノ口
穂満恵理子	澄博	於里

御寄付

香典返しの代わりにご寄付をいただきました。厚くお礼申し上げますとともに故人のご冥福をお祈りいたします。（　）内は故人。

＝町社会福祉協議会へ＝

四万円
川内市　堂森正男（敬二85）
三万円
宮田ケ平　畠中明良（正　71）
一万円
岩原西　羽島一英（エツ80）
一万円
東諏訪　加藤フミエ（定義78）
三万円
垂ノ口　樋木キクエ（ユキ92）

＝町国民年金協議会へ＝

一万円
垂ノ口　樋木キクエ（ユキ92）

▽七月二十日までのご寄付を掲載いたしました。